

第 67 回定期総会 山本博司参議院総務委員長祝辞

全国町村議会議長会第 67 回定期総会の開催に当たり、参議院総務委員会を代表して、一言御挨拶を申し上げます。

御列席の皆様には、地域社会の活性化と住民福祉の向上のため、日頃から献身的な取り組みをいただいておりますことに対し、深く敬意を表しますとともに、衷心より感謝申し上げます。また、自治功労者及び町村議会表彰等の榮譽に浴された皆様に対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、政府の最重要課題である「地方創生」については、昨年末に国の総合戦略が改訂され、また、地方版総合戦略も皆様の御尽力を賜り、ほぼ全ての団体において策定される見通しとなっております。いよいよ地方創生の本格的推進段階に入ることとなり、各地域の実情に応じた施策の展開が行われるよう、引き続き皆様の御精励を賜るとともに、国としても切れ目のない支援策を講じていく必要があります。

平成 28 年度の地方財政については、「まち・ひと・しごと創生事業費」を 1 兆円計上するほか、地域の重点課題に対応するための歳出を創設するなどして、平成 27 年度を上回る一般財源総額が確保されております。これに関する地方交付税法の改正案や、地方法人課税改革や企業版ふるさと納税の創設などを内容とする地方税法の改正案の審議を今後行う予定であります。

あわせて、地方分権改革については、地域の発意に根差した取り組みとして導入されている「提案募集方式」により寄せられた提案の実現のため、所要の一括法案の審議も行われる予定であります。

このような地方創生や地方分権改革の取り組みが進む中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任はますます重要になってきており、執行機関の監視はもとより、住民の目線に立った政策提言を行うことなど積極的な取り組みが求められております。

皆様方におかれましては、住民の期待に応え、活力ある地域社会をつくるため、諸課題の打開に向けてなお一層御尽力くださいますようお願いいたします。

私ども参議院総務委員会といたしましても、委員会の審議等を通じ、分権型

社会にふさわしい地方行財政基盤の確立に向け、引き続き努力してまいる所存であります。

最後に、全国町村議会議長会の更なる御発展をお祈り申し上げるとともに、御列席の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成 28 年 2 月 5 日

参議院総務委員長 山本 博司